

2年2組

ヤギさんとのくらし ～みんなが しあわせに くらせるために～



「ヤギさんのこと もっと 知りたいな」

夏休み明け、ヤギさんとのくらしが始まりました。これから共にくらすヤギさんは、5月にお借りして体験させていただいたヤギさんです。上田市から連れてきました。8月24日（日）、学校に到着してゲージの扉を開けると、嫌がることなくヤギさんは自分から降りて歩き始めました。5月のことを覚えていてくれたのでしょうか。自然体験園の草をおしゃおしゃと食べながら、小屋へと向かいました。2年2組の子どもたちと共にヤギさんとのくらしが始まろうしていることに期待に胸を膨らませている私がいることを感じた1日となりました。



9月4日（水）、附属長野小学校でいつもお世話になっている佐藤獣医に来ていただき、ヤギさんの様子をみていただきました。この日の朝に佐藤獣医にお電話したところ、「休み時間に行きますよ」と言ってくださいました。さらに、「駆虫*の注射も持っていきますよ」と言ってくださり、急遽、駆虫の注射をやっていただくことになりました。（*お腹の中に寄生虫がわからないように予防すること）

休み時間に2組の子どもたちと共に注射の様子を見ました。注射が用意されると、子どもたちから自然と「がんばあれ。がんばあれ」という応援の声が上がりました。そして、無事注射を終えると佐藤獣医から「えらかったね。泣かなかったね」と伝えられました。注射を終えたとき、「がんばあれ。がんばあれ」と応援していた子どもたちに対して、佐藤獣医は「注射終わったよ」ではなく、「偉かったね。泣かなかったね」と声を掛けてくださいました。この「偉かったね。



泣かなかったね」という言葉に私は、「共に在る」を感じました。目の前で注射をするヤギさんに何とか力になりたいと願って応援し始めた子どもたち。子どもたちも注射をする前のドキドキする感覚や感じる怖さ等、自らも味わってきたであろう経験からくる心からの応援でした。ヤギさんへ懸命に思いを寄せようとしている子どもたちの気持ちを感じて、掛けてくださった「偉かったね。泣かなかったね」という言葉だったように思います。子どもたちのヤギさんへ寄せる思いと、子どもたちの寄せる思いを感じて子どもたちに寄り添ってくださった佐藤獣医の思いとが、ヤギさんを通して重なり合った瞬間でした。思いと思いとが重なり合うことで、感じる「共に在る」でした。そして、「すごい泣かなかった。えらい」「ご褒美に、餌をあげよう」と言いながら、ヤギさんと共に自然体験園へと駆け出していく子どもたちとヤギさんの後ろ姿を見つめながら、改めて、2年2組の子どもたちとヤギさんと「共に在る」とは、どういうことなのか自らに問い返している私がいました。

10月から「ヤギさんノート」を始めました。ノートにはヤギさんについて調べて分かったことやヤギさんについて興味をもったことを自由に調べて書き込むためのノートです。宿題として「ヤギさんノート」を行った翌日の朝、教室へ入るとすぐに「ヤギさんの好きな食べ物がわかったよ」「ヤギさんの食べちゃいけない食べ物につい

て調べたよ」などと早速、自分たちが知ったことやわかったことについての話で盛り上がりました。

また、月曜日から金曜日の学校のある平日について、班ごと順番にお世話当番を行うことにしました。朝は、「小屋の掃除」「バケツの水替え」「餌やり」をします。2時間目休みに餌がなくなっていたら補充し、帰る前には、朝と同じお世話を行って一日のお世話は終了です。お世話を本格的にやってみることで気付くこと、見えてくるものがあるようです。

10月から始まったヤギ当番もおよそ1ヶ月が経とうとしています。朝に餌やりや水の交換、小屋の掃除と日々奮闘している姿があります。飼育を続けていくことで感じるうまくいかなさも少しずつ感じているようです。ヤギさんもまた子どもたちと同じように成長し大きくなって動きも活発になっていることもうまくいかなさと関係しているようです。このうまくいかなさが、大切な学びを呼び起こす問いや願いへとつながっていくように感じます。

ヤギさんノートを通して、少しずつヤギさんのことに詳しくなってきました。正しい知識でヤギ飼育を科学していくことがヤギさんとのくらしのヒントになると感じています。

ヤギ当番を始めたことで以前より小屋へ入る子も増えたように感じています。中には、「今日、当番じゃないけどお掃除していい?」と尋ねてくる子もいます。一人ひとりの距離感で段々と山羊さんとしっかり向き合っていけたらと思っています。

国語で「どうぶつ園のじゅうい」を学習した子どもたちは、「教か書にはないじゅういさんのしごとについても知りたい」「ほかにもいろいろどうぶつを見てみたい」という願いをもつようになりました。そこで須坂市動物園へ行くことにしました。動物園で聞いてみたいことや知りたいことについて考え合いました。考え合う中で「ヤギさんの体ってどうなっているのかな」と疑問を語るお友だちがいました。そこで、まずは自分たちでヤギさんを観察して描いてみることにしました。今回は、「目」「足やつめ」「鼻」「尻尾」などの部分から自分で選んで観察して描いてみることにしました。観察する中で、「右目と左目で少し形がちがうよ」「ヤギさんのつめは、2つに分かれているんだね」など、次々に発見をしていきました。普段何気なく全体を見ていると気づけないことも、部分をよく見てみることで、気づくことがあります。観察も繰り返していくことで、さらなる発見につながるかもしれません。

11月7日(金)には郊外学習として須坂市動物園へ行ってきました。電車とバスを乗り継いで行ってきたことも子どもたちにとって貴重な経験となりました。他に乗車された方に席を譲るという素敵な姿と出会えたこともうれしい思い出の1つです。動物園では、飼育員さんのお話や様々な動物を目の前に発見もあったようです。また、自分自身の問いに対する答えがなかなか見つけれず苦戦しながら粘り強く取り組む姿もありました。いずれにしても次の学びのきっかけとなることでしょう。

